

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

4月号(NO19)通巻 169号

2020年4月10日(金)発行(毎月10日)

【農暦】**落ち着かない日が暫くは続きそうである!**

○花冷えというが、春の暖かい陽射し日の翌日は決まって寒い日になる。桜の時は荒れる。29日は雪である。4日は清明で、すべてのものが清らかで生き生きとするころのこととある。何か違う気がする。新型コロナウイルスは一挙に世界に広がり深刻な事態にある。スポーツ大会の中止、オリンピックの1年延期、イベントなど大小問わず自粛要請、3密(密閉、密接、密集)を避けるなどと呼びかけられてきた。今日(7日)に緊急事態宣言が出された。遅れ感は否めない。

○温暖化の影響なのか天気の変化が激しい。温かい日と寒い日が交互に来る。気温差も大きい。身体が付いて行けない。冬服が手放せない。それにコロナウイルスである。外出自粛と言われるが、食料などの買い物がある。その都度、マスクを求めても全くない。ご近所の高齢のご婦人が言っていたが、コロナより先に身体がおかしくなってしまうと。同じ心境である。

○コロナも怖い、リーマン・ショック以上というが、経済が壊れてしまいそうで心配である。経済を止めないでと思うのだが、経済活動＝人間活動(3密につながる)なのである。3密だけは避けなければと思う。外出自粛など冷静に行動をと思う。落ち着かない日が暫くは続きそうである。

○こんな時は農作業が一番と思うが、天候が落ち着かない。天気との相性が悪い。生活のリズムが整わないでは農作業も進まない。晴耕雨読をと思うがそんな気分になれない。怠け者の言い訳と言われそうだが、自由な時間の使い方は意外と難しい。

○畑は春が始まっている。農日和は少ないが、じゃが芋(キタアカリ)の植込みをした。草刈り、剪定、剪定枝などの残滓の焼却など少しづつ進めている。農作業すると気分がいい。コロナウイルスなど気にならない。春耕、除草などやらなくてはならない。“ミニ菜園”を楽しみたいと思っている。(了)

【楽農】<畑>じゃが芋(キタアカリ)の植込み18日。一部耕起。草刈り、剪定、剪定枝などの残滓の焼却など。

【楽市】イベントなど;詩吟の会、共生の会、川柳の会の3-4月例会はコロナ対応で中止。家で誕生会(20日)。



<満開の桜>いつもの散歩道。
花冷えで人まばら。28日撮影



<白菜の花>花芽も美味しく頂いたのだが。4日撮影

【つぶやき=Tweet】昔人は云う。人生は儂いと！

○「社会が定める『こういうもの』と衝突ばかりする日々をおくってきたが、それはそれで悪くはなかった。◇教育や差別を論じて、介護や食の安全を語っても、一色に染まることを拒み、自由と抵抗の構えを崩さなかった作家（落合恵子）は」と朝日の折々のことば 3.17 に引用されていた。まだ、人生を振り返る心境にはなれないが、私の場合は、あるべき姿を求めて妥協（諦め）と折り合い（譲り合い）の連続であったような気がする。寂しいものがある。

○人生つぶきになるが、若い頃に貰った手作りの扇子に、「對酒當歌、人生幾何、譬如朝露、去日苦多、慨當以慷、幽思難忘、何以解憂、惟有杜康」と墨書されていた。これは三国志の曹操（魏王）が詠んだ短歌行の前半である。

“人生は短い朝露のようだ”から始まり、“憂いを解くには酒あるのみだ”で結んでいる。少し前になるが、姪が翻訳してくれて知っていた。三国志の英雄も、酒を飲むしかなかったのだと。みょうに納得したことが思い出された。

○この詩が「てんとう虫」の4月号に載っていた。三国志が特集されていたのである。三国志は万葉集の頃から日本人に読み継がれて来たと言うが、改めて楽しくしく読んだ。“三顧の礼”“泣いて馬謖（ばじょく）を斬る”の諸葛孔明、劉備玄德、関羽、張飛などはよく知れている。日本人の心に深く沁み込んでいる。関羽を祀った関帝廟（数年前の土楽だよりに写真を）は横浜中華街にある。李白の「早（つと）に白帝城（ここで劉備が没した）を發す」を大分前になるが、詩吟の会で吟じていた。

○さらに人生つぶきになるが、連載エッセイ「朝（あした）の紅顔夕（ゆうべ）の白骨」を首肯しながら楽しく読んでいたが、著者の菅原文子（故菅原文太の妻）さんは「私の人間観は親鸞さんと同じ、人の世にヒーロー、ヒロインを求め崇拝することはない。」と、本の窓 3.4月号の最終回に書かれていた。この題名の意味が解けた。蓮如の「白骨の章」の「朝には紅顔ありて、夕には白骨となれる身なり」からのものであったのだ。親鸞の教えを正確に、日本全国津々浦々に広められた蓮如が書かれた「御文（おふみ）」の「白骨の章」からのものであったのだ。笠間には親鸞の西念寺がある。蛇足だが、蓮如は子27人あり84歳まで激しい人生を全うしている。

○人生が気になって来ている時に、新聞で、雑誌で、たまたま“人生”が目にとまったので引用を多くしてしまった。昔人は云う。人生は儂（はかな）いと。残された時間を意味あるものにしたいものである。（了）

○断捨離考：庭、家、少しずつだが、片付けを進めている。停滞だけはしないで！

【後記】コロナ対応一色、閉塞感の中、じつと我儂かなと。【編集せずランダム構成】



＜庭に積雪＞雪の予報があったが。29日撮影

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

HP；kogure農場

メール；torao-k@nifty.com